

## 第3・4学年 算数科学習指導案

場 所：3 4 年教室（2 F）

授業者：長 村 輝 行

### 1. 単元名

3 年 「たし算とひき算の筆算」(ひき算の筆算)

4 年 「折れ線グラフ」(折れ線グラフのかき方)

### 2. 指導の立場

#### (1) 単元の目標

##### < 3 年 >

- ・(3位数) + (3位数) の加法(繰り上がり2回) の計算の方法を考え出すことができる。
- ・(3位数) - (3位数) の減法(繰り下がり2桁) の計算の方法を考え出すことができる。
- ・3位数同士の加法・減法が、筆算で正しくできる。
- ・進んで既習の計算と関連づけて、計算方法から類推して計算のしかたを考えようとする。

##### < 4 年 >

- ・資料や変化のようすを折れ線グラフに表したり、その特徴を読みとることができる。
- ・身のまわりの事象を目的に応じて、折れ線グラフに表そうとすることができる。

#### (3) 指導にむけて

3 年	4 年
<p>計算の力はあるが、立式やなぜそうした計算になるのかといった説明の場面だとまどう児童が見られる。そこで既習の事項をもとに自分の考えを持てるようにし、自信を持って説明できる力を培いたい。</p> <p>また説明する場で「いかにわかりやすく」に視点をおいて何度も繰り返し説明の練習することで、すでに説明の力がある児童にもより高い目標を意識させて力をつけていきたい。</p>	<p>算数という教科は、答は一つでも、そこに至る道筋は多岐にわたる。本単元ではグラフをかく際、目もりの間隔が同じなら、1目もりの大きさを変えてもグラフが成立する、という場面がそれにあたる。ここで児童の多様な考え方を引き出し、算数のおもしろさに気づかせたい。</p> <p>また児童の実態を見ると、棒グラフをかく際目もりを等間隔にとれず、そのため正しい数値をグラフに書き込むことができない児童が見られた。そこで、グラフのかき方は目もりに着目させ、一つ一つ確認しながら指導していきたい。</p>

### 3. 研究に関わって

市小算研研究テーマ

学ぶ楽しさと充実感を味わう算数教育の創造

#### < 研究主題 >

**確かな算数の力を身につけ、学ぶ楽しさを味わうことができる児童の育成**

#### < 願う児童の姿 >

- ・算数の力を確実に身につけ、自分なりの考えを持って授業に臨むことができる。
- ・自分と仲間の考え方の似た点や異なる点に気づき、考えを深めることができる。

#### < 研究仮説 >

- ・つけたい力(基礎・基本)を明確にし、学年の実態に応じた指導・支援を進めていけば、確かな算数の力を身につけることができる。
- ・多様な考え方が認められる中でその考えを交流していけば、お互いの考え方が深まり、学ぶ

楽しさを味わうことができる。

< 研究内容 >

互いの考えを交流しあい、深め合うことができる、一単位時間の学習課程の工夫

< 研究方法 >

意欲化を図る工夫

・基礎・基本定着の調査

・意欲を持たせる問題の提示

交流の場の工夫

・多様な表現ができる教育機器の活用

・学習形態の工夫とリーダーの育成

本時の手だて

3年	4年
<p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示資料の活用によって既習事項を確認し、本時の学習のに対し「やれそうだ」という見通しを持てるようにする。</li> </ul> <p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを相手にわかりやすく説明することができる練習の場として、より多くの人に説明を聞いていただくようにする。</li> </ul>	<p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒントコーナー・発展コーナーをおくことで自分から考えを持ったり深めたりできるようにする。</li> </ul> <p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な表し方があるグラフのかき方に気づけるようにするため、学習リーダーを中心に全員の考えを交流する。</li> </ul>

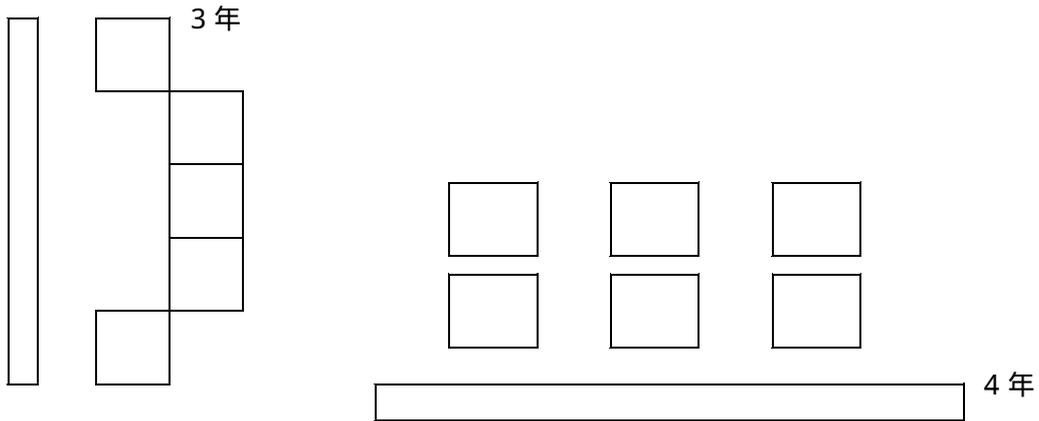
#### 4. 単元指導計画

3年	時	4年
(何百) + (何百)・(何百) - (何百)の計算の仕方を考え、その計算をすることができる。	1	変わり方の様子について学ぶ課題を捉え、折れ線グラフの特長をおさえることができる。
(3位数) + (3位数)でくり上がりがある筆算の仕方を考え、その筆算をすることができる。	2	変わり方の様子が線の長さ・傾きに表れていることに気づき、折れ線グラフの読み方を身につけることができる。
(3位数) + (3位数)でくり上がりがある筆算の仕方を考え、その筆算をすることができる。	3	折れ線グラフの目もりの取り方を考えながら、伴って変わる2つの量を折れ線グラフにかくことができる。
(3位数) - (3位数)でくり下がり1回の筆算の仕方を考え、その筆算をすることができる。	4	変わり方の様子がよくわかる折れ線グラフのかき方を考えて、工夫した折れ線グラフをかくことができる。
(3位数) - (3位数)で、くり下がり2回の筆算の仕方を考え、その筆算をすることができる。	5	算数のまど・練習問題に取り組み、折れ線グラフを読んだり書いたりすることに習熟することができる。
(3位数) - (3位数)で、くり下がり2けたに及ぶ筆算の仕方を考え、その筆算をすることができる。	6	テスト 自分の苦手なところを見つけて、自分で補強することができる。

5. 本時の評価の観点

3年	4年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一の位がひけないので，十の位からくり下がることが言える。(考え方)</li> <li>・十の位がひけないから，百の位からくり下げる仕方が言える。(考え方)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変わり方のようすが，もっと分かりやすい折れ線グラフのかき方の工夫はないか言える。(考え方)</li> <li>・発展プリントのグラフを見て，波線部の意味がわかる。(理解)</li> </ul>

6. 机列



< 出入口 >